

# 令和2年2月教育長定例記者会見資料（別冊）

令和2年2月21日（金）15：00～

## ○ 令和2年度新規・主要事業について

(1) 県立学校先端技術活用教育推進事業	新規	(総務課)	……………1
(2) 図書館魅力向上推進事業	拡充	(生涯学習課)	……………2
(3) 小中学校における遠隔教育実証研究事業	新規	(義務教育課)	……………3
(4) いじめ問題対策推進事業	拡充	( “ ” )	……………4
(5) 外国語指導助手招致事業	拡充	(高校教育課)	……………5
(6) プログラミング・エキスパート育成事業	拡充	( “ ” )	……………6
(7) 世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業	新規	(保健体育課)	……………7

# 県立学校先端技術活用教育推進事業（新規）

【R2当初予算額 107百万円】

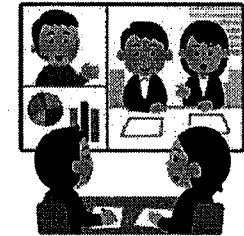
教育庁総務企画部総務課総務G (029-301-5143)

県立中高一貫教育校において、生徒が1人1台の端末を活用できる環境の整備を行い、遠隔教育やクラウドサービス等の先端技術を活用した教育活動を推進します。

## 1. 事業内容

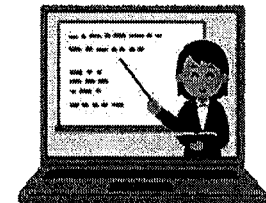
○県立中高一貫教育校において、1人1台の端末を活用できる教育環境の整備

- ・ 端末の整備（R1補正）
- ・ 遠隔教育、クラウドサービス等学習環境整備
- ・ 研修やICT支援員等のフォローアップ



## 2. ICTを活用した学習場面

- ・ 課題解決型学習：他者と協働で課題に向かい、学んだ知識を活用して解決
- ・ 個に応じた学習：生徒1人1人の学力に応じた学習機会の提供
- ・ 遠隔学習：高い専門性をもつ外部人材の活用や異文化交流等
- ・ 学びの履歴を蓄積：学習や進路の指導に生かすために、活動記録等を蓄積



▶ 先端技術を活用したICT教育を推進することにより、情報活用能力を育成するとともに、大きく変化する社会や様々な課題に対応できる人財を育成

## 図書館魅力向上推進事業

【R2当初予算額 68百万円】  
[28百万円]

教育庁総務企画部生涯学習課振興G. (029-301-5318)

県立図書館を県民の集まる拠点としていくため、館内1階ロビー等にカフェスペースを整備し、図書館の魅力向上を図ります。

### ●カフェの整備による新しい魅力ある図書館へ（R2年夏オープン）

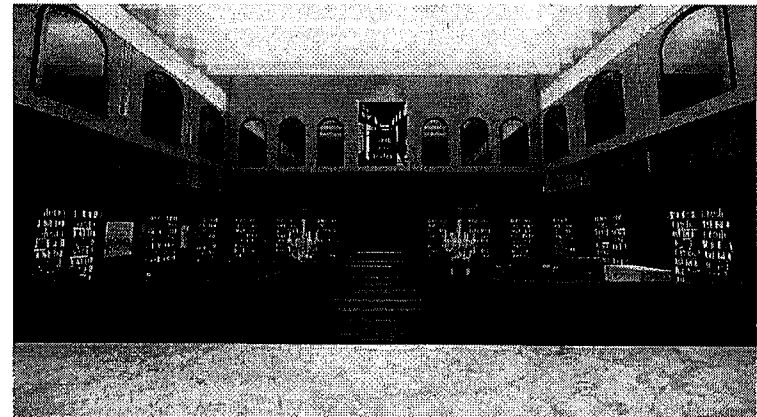
- ◇読書や調べものをしながらコーヒーを楽しむ
- ◇これまでの「静かな図書館」から会話の生まれる図書館へ
- ◇くつろぎスペースや打合せのできるスペースを提供

#### 【整備箇所】

現在の1階ロビー、ギャラリー、飲食スペース



- ・カフェスペース
- ・ゆったりと読書ができるくつろぎスペース
- ・ビジネスに利用可能なスペース  
（電源を確保し、ノートPCが使用可能）など



# 小中学校における遠隔教育実証研究事業（新規）

【R2当初予算額 11,989千円】

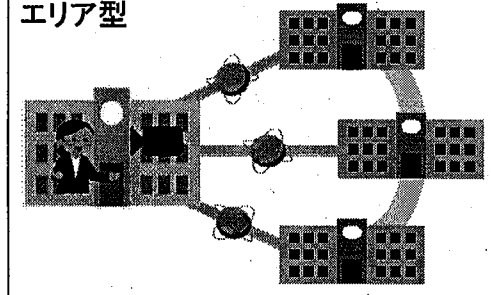
教育庁学校教育部義務教育課指導G (029-301-5226)

高度な専門性や優れた指導力をもつ人材を活用した遠隔教育の実証研究を行い、質の高い教育の実現を図ります。

## 1 優れた指導力をもつ教員による遠隔授業（エリア型）

- ・ 1つの配信校からエリア（市町村）内の複数の学校へ配信
- ・ 2つのエリア（市町村）の小中学校で教科を選定して実施
- ・ 同時配信や受信校同士をつなぐ遠隔合同授業も実施

エリア型

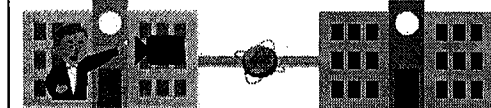


## 2 高度な専門性をもつ外部人材等による遠隔授業（ピンポイント型）

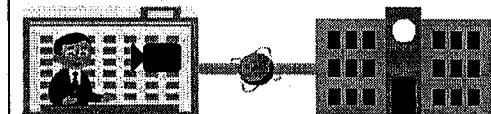
- ・ 1つの配信校・配信地から1つの受信校へ配信
- ・ 英語科とプログラミングで実施
  - [英語科] ネイティブ・スピーカー等（小中学校等10校）
  - [プログラミング] 大学教員等（小学校1校，中学校2校）

ピンポイント型

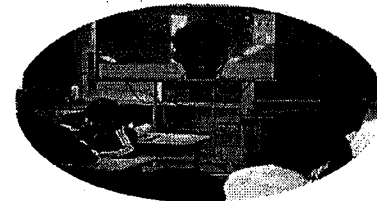
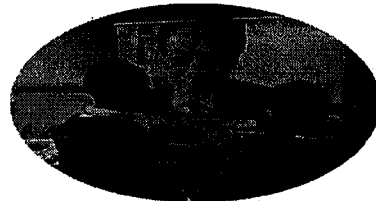
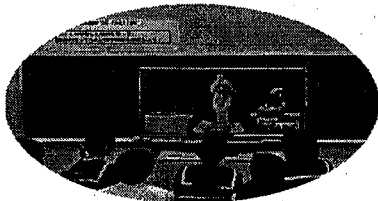
[英語科]



[プログラミング]



大学、企業等





# いじめ問題対策推進事業

【R2当初予算額 38,204千円】  
[29,376千円]

教育庁学校教育部義務教育課生徒指導推進室 (029-301-5229)

SNSを活用した相談窓口の開設期間を拡充するとともに、県と市町村・学校が専門家と連携し、いじめ等の早期発見から解消まで一貫したサポートを行います。

## 1 いじめ・体罰解消サポートセンターの運営 (15,381千円)

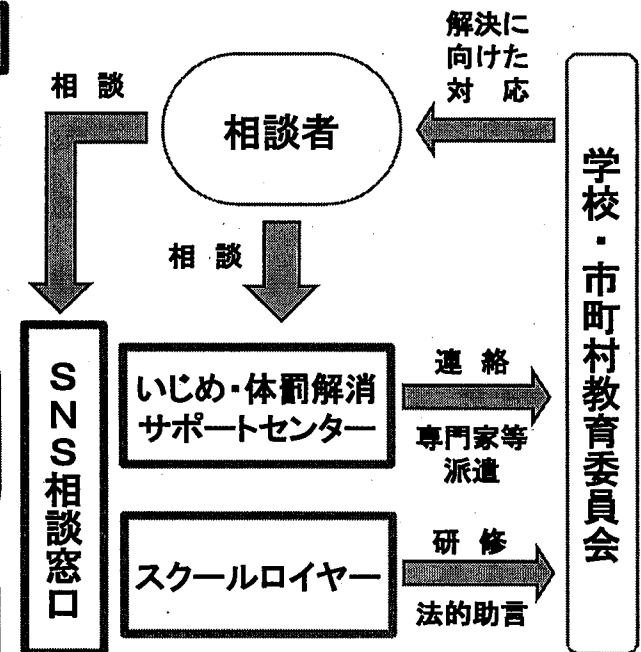
- ・いじめ・体罰等を早期に発見し、解消までを総合的にサポート
- ・相談者は電話、来所、ネットにより相談（匿名相談も可）
- ※ 特に深刻な事案は警察OB等の専門家を学校等へ派遣し、家庭訪問等を通じて解消を支援

## 2 SNS活用相談事業 (19,917千円) 【拡充】

- ・内 容 : LINE等のSNSを使った相談窓口の整備
- ・時 期 : 長期休業明け前後4回 計100日 (R1当初:夏季40日間)

## 3 スクールロイヤー活用事業 (2,906千円)

- ・内 容 : 弁護士によるいじめ予防等のための教職員研修  
弁護士によるいじめ問題に係る法的助言



※必要に応じ関係機関と情報共有・連携

【R2当初予算額 242百万円】  
[194百万円]

教育庁学校教育部高校教育課指導G (029-301-5262)

県立高校等に外国語指導助手（ALT）を増員し、ネイティブと実践的な会話ができる機会を増やすことで、グローバル人材の育成を図ります。

### 1 ALTの重点配置

県立高校等のALTを増員（40人→53人）し、中高一貫教育校等に重点的に配置  
⇒新たな活用方法による効果を実証

### 2 活用方法

- (1) ディベートを活用した授業による実践的な英語力の向上
- (2) マンツーマン、少人数での英会話レッスン
- (3) 専門性をもつALTによる英語以外の教科・課題研究の授業
- (4) クラスの副担任として学校行事等での交流 等



ALTとの実践的なコミュニケーションにより、英語で思考・議論できる「グローバル人材」を育成



# プログラミング・エキスパート育成事業



【R2当初予算額 45百万円】  
[42百万円]

教育庁学校教育部高校教育課指導G (029-301-5260)

全国トップレベルのプログラミング能力やAI活用能力をもつ中高生を育成するとともに、多くの生徒がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供します。

## 1 高い意欲・能力を有する中高生向けの指導

### ①現役プログラマー等による個別指導

対象：県内の中高生 40名 (160名から選考)

内容：参加者の考案するアプリ等の制作

### ②エキスパートの育成

対象：①修了者のうち2名を選抜

内容：さらに専門性の高いスキルの習得

### ③フォローアップ研修

対象：①修了者のうち ア：希望者 イ：10名以内

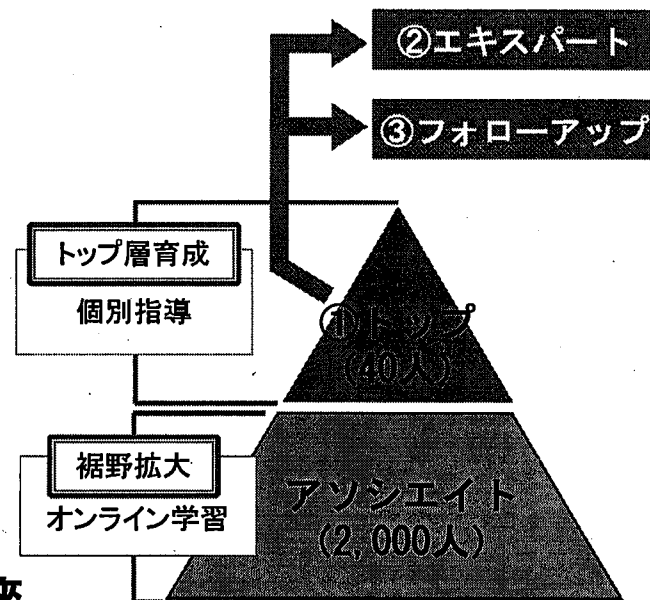
内容：ア) コンテストに向けたアプリ等の制作

イ) AI技術の指導【新規】

## 2 プログラミングに興味がある高校生向けオンライン講座

対象：県内の高校生 2,000名

内容：基礎的なプログラミングスキルを学習



※トップ：プログラミングに高い意欲・能力を有する者  
※アソシエイト：プログラミングに興味を有する者

# 世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業（新規）

【R2当初予算額 91百万円】

教育庁学校教育部保健体育課国体競技力向上対策室（029-301-5357）

全国，世界で活躍するトップアスリートを輩出するため，ジュニアアスリートの発掘・育成を中心とした競技力の向上を図ります。

- 【事業内容】 ①モデル競技（バスケットボール・サッカー）でのトップアスリート育成システムの構築  
 ②ジュニアアスリートの発掘・育成

